

2023年度事業計画書

I 概況

1. 来館者数（オンラインイベント参加者含む） 80,000人

2022年度は依然新型コロナウイルスの影響が残ったものの、野球界はコロナ禍前に戻りつつあり、ファンにとって野球を楽しめる状況になってきました。

また、野球伝来150年という節目の年でもあり、プロ野球界、アマチュア野球界、私ども野球殿堂博物館は共同で、様々な記念事業をおこないました。

そして、3月に開催されるWBCでは、侍ジャパンの活躍が多くファンに野球の醍醐味、素晴らしさを伝えてくれるものと期待しています。

昨年度の当館の活動ですが、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校」を開校し、西武、巨人で活躍した片岡保幸さんを講師にしたイベントや、小学生向けの「野球で自由研究」でのイベント各種、年末には「野球伝来150年記念シンポジウム」と銘打ち講演会、パネルディスカッションなどを開催し、野球の普及・振興に努めました。

また、6月には開館以来の通算来館者数（オンラインイベント参加者含む）600万人を達成いたしました。

東京ドームシティの賑わいが少しずつ戻り、外国人来館者も増えてきておりますが、残念ながら来館者数は予算上の70,000人を下回る65,000人程度となる見込みです。

2023年度は、映像による展示紹介を拡充し、野球振興に寄与するような展示、イベントを開催するとともに、夏休みの「野球で自由研究」をさらに発展させるなどの活動を行い、来館者数80,000人を目指します。

2. 野球殿堂

2023年の野球殿堂入りが決定したアレックス・ラミレス氏、ランディ・バース氏、古関裕而氏の表彰式は、7月19日（水）にバンテリンドームナゴヤで開催されるプロ野球オールスターゲームの試合開始前に行なう予定です。

また、恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式終了後に野球殿堂ホールにて開催する予定です。

3. 維持会員数の拡大と制度の充実

維持会員制度の刷新で、招待券配布枚数の増加、貸切見学会などの新しいサービスを開始し、会員加入を促進いたします。

4. その他

重点業務として、今後の展示の魅力を増すため、また維持会員への特典サービスとしてバックヤードツアーができるよう、収蔵庫の整理を推進いたします。

集客手段として、東京を中心とする100以上の美術館・博物館の入場券や割引券がセットになった「ぐるっとパス」に初参加いたします。

昨年度リニューアルした常設展示エリアモニターのコンテンツの充実化を図ります。

現在、3台稼働している空冷式チラー（冷却水循環装置のことで、館内の冷暖房温度を制御する装置）のうち、2003年に導入し、老朽化している1台を更新工事いたします。

4年ぶりに平日の開館時間を10時に戻します。（閉館時間は17時。東京ドームでプロ野球開催時は18時）

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

〔収集〕

野球・スポーツ関連資料の収集を広く行う。特に下記を重点的に収集する。

- (1) 外国語の資料
- (2) プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料
- (3) 野球文化に関する資料

〔組織化〕

- (1) 図書分類の見直し
- (2) 雑誌分類の検討
- (3) 図書管理システムへの資料登録を計画的に行う(5年目)
- (4) 洋書のデータ入力
- (5) 財産目録上にある資料の処遇について検討
- (6) 寄贈された資料の整理

〔保存〕

- (1) 資料のデジタル化
- (2) 資料の製本

〔利用者サービスの向上〕

- (1) O P A C の充実
- (2) レファレンス対応の強化
- (3) 利用者調査の実施
- (4) 利用者環境の改善
- (5) データベース導入の検討
- (6) 国立国会図書館から図書館送信の検討(デジタル化資料送信サービス)

〔調査研究〕

- (1) 野球文化に関する資料の調査研究
- (2) 野球殿堂に関わる資料調査及び資料作成

(3) 明治、大正期の野球に関する資料の調査研究

(4) オーラルヒストリーの公開

[情報発信]

(1) 図書館総合展への参加

(2) SNSの活用

(3) 資料紹介をWebで行う

(4) 図書販売コーナーの設置

<教育普及活動>

(1) 野球で自由研究！お悩み相談コーナーの設置

(2) 「第8回 野球で自由研究！コンテスト」の開催

(3) 図書室外に開架閲覧スペースの設置

<他機関との連携>

(1) 日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会などの大会や総会、研究会への参加

(2) 秩父宮記念スポーツ図書館をはじめとするスポーツ系図書館との連携強化

<その他>

(1) 複本を他の図書館へ寄贈

【学芸員室】

<重点目標>

(1) コレクションの整理、収蔵環境の向上を優先的に行う。

<収集>

(1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。また、2023WBC関連資料の収集を行う。

<整理・保管・保存>

(1) 近年滞ってきたコレクションの登録作業を進める。

(2) 収蔵庫の分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。

(3) 将来的な資料管理システム導入に向け、引き続き収蔵資料の棚卸を実施する。

< 展示・イベント >

[企画展・特別展]

(1) 企画展「World Baseball Classic 侍ジャパン、世界一への挑戦」

2月23日～4月23日

(2) 企画展「野球殿堂ってなあに？」 5月～6月

(3) 「野球で自由研究！」 7月～8月

(4) コレクション展示 9月～11月

(5) 企画展「野球報道写真展2023」 12月～2024年2月

(6) 「2023年野球殿堂入り特別展」 7月～10月

[常設展・特集展示]

(1) 12球団特集展示

5月 広島東洋カープ

※東京ドームにて各1日の主催試合を実施する西武、ソフトバンク、楽天、ロッテの4球団については、主催試合当日限定のコーナー展を実施する。

(2) 全日本大学野球選手権大会 6月予定 ※アマチュア野球コーナー

(3) 高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権8月予定

※アマチュア野球コーナー

(4) 都市対抗野球 7月予定 ※アマチュア野球コーナー

(5) 引退選手特集 12月～2024年2月

(6) 野球で自由研究！コンテスト作品展2023 2024年春予定

※殿堂ホールで開催

(7) 常設展示「プロ野球の歴史」コーナーの壁面ガラスケース改装

[「野球の学校」 イベント]

(1) 野球殿堂入りの方々によるトークイベント

(2) 野球で自由研究！関係イベント

審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

< 調査・研究 >

(1) 企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。

(2) 19世紀の日本野球の調査研究を続ける。

< 広報活動 >

(1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌等にリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを製作し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。

- (2) ホームページやSNS、PRTIMESで企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に、積極的に協力してPRに努める。
- (4) NPB、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。
- (5) ニュースレターを2回発行し、配布する。

< 学校教育との連携 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2023年度受入れは原則として平日の火、水、木、金の13:00～14:00の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。
- (2) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。

【建物設備の維持管理】

- (1) 現在3台稼働している空冷式チラーのうち、老朽化している1台の更新工事を行う。
- (2) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理につとめる。
- (3) 映像設備のランプ交換を年1回行う。
- (4) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (5) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (6) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (7) 受付ポスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。
- (8) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日常の清掃、衛生対策を強化する。また、お客様の手に触れやすい箇所に関しては、営業中定期的に消毒し、除菌作業を強化する。

【収益事業】

- (1) 新商品の開発及び商品アイテムの拡充に努める。また、オンラインショップにおいてキャンペーンを実施し、収入増に繋げる。
- (2) 2023年野球殿堂入りのラミス氏、バース氏のメモラビリアをNPBオンラインショップで販売する。
- (3) 新刊『野球殿堂2023』の販売促進に努める。

Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出
野球界関連の団体、公共団体、類縁機関等の展覧会やイベントに際し、資料貸出だけではなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。
- (2) 船橋市との相互協力協定（2017年4月～）
- (3) 全国博物館大会への参加

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2023年に野球殿堂入りしたラミレス氏、バース氏、古関氏のレリーフ制作を彫刻家松田光司氏に依頼する。
- (2) 野球殿堂入り特別展を、7月～10月にかけて殿堂ホールで開催する。
- (3) 2024年野球殿堂入りの有資格者の調査を行う。競技者表彰委員会幹事による東日本幹事会を東京、西日本幹事会は大阪で開催し、候補者を決定し発表する。
- (4) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行う。その後、各社の代表経由で、委員に投票用紙を配布、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会東日本幹事会の幹事により開票作業を行う。
- (5) 特別表彰の候補として推薦された方の調査を行い、資料を作成する。特別表彰委員会候補者選考委員会を開催し、候補者を決定し発表する。その後、委員に対し投票用資料を郵送し、特別表彰委員会を開催する。
- (6) 競技者・特別両委員会を選出された方への2024年野球殿堂入り通知式を、野球殿堂ホールにて行う。
- (7) 野球殿堂関係資料の整理を行う。